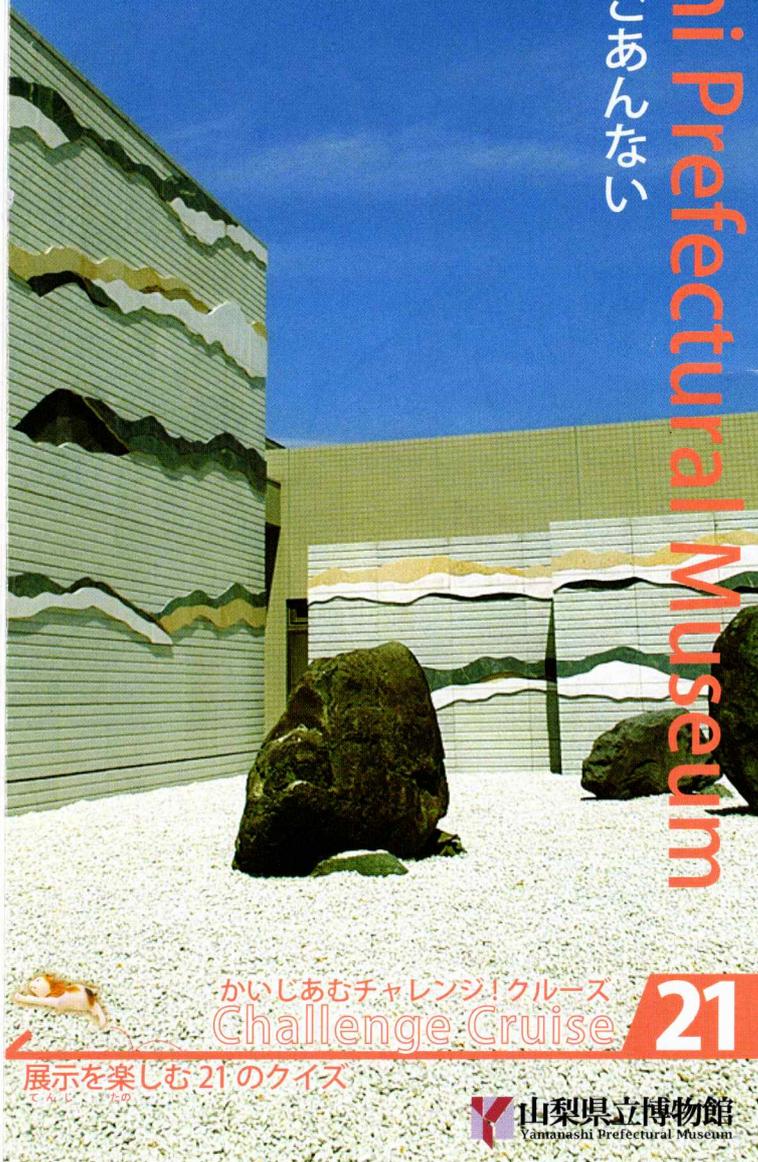


# Yamanashi Prefectural Museum

## 山梨県立博物館

ごあんない



かいじあむチャレンジ!クルーズ  
Challenge Cruise

21

展示を楽しむ21のクイズ

山梨県立博物館  
Yamanashi Prefectural Museum

### ご利用案内

開館時間 9:00 - 17:00 (入館は16:30まで)

休館日 火曜(祝日の場合は開館、翌日休)、  
祝日の翌日(土曜日が祝日の場合の日曜日は開館)

観覧料 一般520(420)円、大学生220(170)円

※ 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の児童・生徒の観覧料は無料です。  
( )内は、20名以上の団体割引料金  
※特別展は別途観覧料が必要となります。

※お得な年間パスポートもございます。購入した日から1年間、県立博物館の常設展・企画展(特別展)を何度でもご覧いただけます。県立博物館・県立美術館・県立考古博物館・県立文学館の4館共通年間パスポート(ミュージアム甲斐in券)も販売しております。

県立博物館単館 一般:2,100円 大学生:1,050円  
4館共通 一般:5,240円 大学生:2,620円

### 館内施設

#### LIBRARY

##### 資料閲覧室

郷土研究の参考となる図書や雑誌、展示の参考図書などを自由に閲覧することができます。また、収蔵品の検索ができるほか、「甲州文庫」のデジタルデータも見られます。



#### GARDEN

##### かいじあむの庭

シンボルツリーのヤマナシの木や「ドングリの森」、約4万本の草花たちが皆様をお迎えします。化石や道祖神、「古代の畠」もあります。



#### MUSEUM SHOP

##### ミュージアムショップ

□営業時間/9:30~17:00

博物館で刊行した図録やオリジナルグッズ、山梨に関する書籍、山梨の特色ある商品・お土産などを、取り揃えております。



### 交通

- 中央自動車道一宮・御坂ICから車で約8分
- JR石和温泉駅からバスで約10分  
富士急行/「富士山駅」・「鶯宿」行き
- JR甲府駅からバスで約30分  
富士急行/南口5番のりば「富士山駅」行き
- 富士急行・河口湖駅からバスで約40分  
5番線「甲府駅」行き
- 富士急行 富士山駅からバスで約50分  
4番線「甲府駅」行き
- 高速バス停から徒歩20分

### 駐車場(無料)

乗用車180台、バス8台  
(駐車場無料、満車時には他の駐車施設あり)



〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田1501-1  
Tel: 055-261-2631/Fax: 055-261-2632  
E-mail: kenhaku@pref.yamanashi.lg.jp  
URL: http://www.museum.pref.yamanashi.jp

### 注意事項

- 本券をもって領収書に代えます。
- 本券の払い戻し及び再発行は致しません。
- 本券は発行日に限り有効です。
- 改札前に半券を切り離すと無効です。

### お願い

- 陳列してある資料には手を触れないでください。
- 敷地内は全面禁煙です。
- 館内へのペットや危険物の持ち込み、所定の場所以外での飲食、撮影はお断りします。
- 展示室内での携帯電話の使用はご遠慮ください。

開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)

休館日 火曜日(祝日の場合は開館、翌日休)、祝日の翌日(土曜日が祝日の場合の日曜日は開館)、年末、1月1日、その他臨時休館あり

山梨県立博物館 かいじあむ  
Yamanashi Prefectural Museum

〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田1501-1  
TEL 055-261-2631 FAX 055-261-2632  
http://www.museum.pref.yamanashi.jp

せんごくじだい おこな  
戦国時代から行われて  
きた占い。 筒〇しんじ



Q21  
コーナー 「展望展示」

てんきのよいひは、果樹地帯の向こうに  
雄大な山々が見えます。 南アル〇ス

Q20

コーナー17 「変貌する景観」

わたし ふじむらしろう いま  
私は藤村紫朗。今で言う  
県知事をしていた。 しろさへん

〇令



Q13 コーナー14 「水に取り組む」

わたし ぶつぞう むらびと わたし  
私は仏像。村人が私を  
いじめるのは、〇を願っ  
ているからなのです。

〇乞いの仏像



Q14 コーナー15 「里にくらす」

わたし むらざかい  
私は村境などにあらわれて、  
人を化かすことがあります。

〇ツ〇



Q18  
コーナー15・16 「里にくらす」+

「城下町のにぎわい」

さと ちから まち しろうがつ はつう  
里から町へ、正月の初売り  
を見に来た親子。

「ボクも白と赤の  
〇〇マがほしい！」



Q15 コーナー15 「里にくらす」

は 履いているのは、人ではな  
い…？ 〇マの草鞋



Q16  
コーナー15・16 「里にくらす」+

「城下町のにぎわい」

ボクは、ノラからムラ、  
高札場のある城下町へと  
長い旅をした。

ウ〇ギ



Q17 コーナー16 「城下町のにぎわい」

ワシには〇〇神が乗り移って  
おるのじゃ。盛大に祭りをいたせ。  
飾られた幕絵も見事であるぞ。

〇〇神



Q11 コーナー12 「山に生きる」

武田の繁栄を支えた鉾山開発。採掘された

○で山梨独自の貨幣も作られた。



甲州○



Q10 コーナー11 「巨富を動かす」

私は行商人から始めて大成  
功した若尾逸平。私のよう  
な実業家を人はこう呼ぶ。

○州財閥



Q09

コーナー10 「転換期に向き合う」

甲斐の国を揺るがした大  
騒動。

○保騒動

Q08 コーナー9 「江戸文化の往来」

かの有名な絵師、歌川広重  
が甲府道祖神祭りのために  
描いたのは…。

○絵



Q07 コーナー8 「道がつなぐ出会い」

室町時代の大甕の中には、  
○国製の陶磁器が納められ  
ていました。

○国製



Q06 コーナー7 「川を彩る高瀬舟」

私はイギリスの外交官。  
1881年に舟で富士川を  
下りました。

E・○○○



常設展示をより楽しむためのクイズです。  
全部で21問あります。  
展示室で答えを探しましょう。

Q01

コーナー1 「自然の森の中で」

縄文人のエネルギーの高まり  
を象徴するかのような

○○まき文様



Q02

コーナー2 「甲斐の誕生」

私はあるお寺を護ってい  
ました。

○国○寺



Q03

コーナー3 「甲斐の黒駒」

私は聖徳太子。  
甲斐の黒駒に乗って、  
ある山に飛びました。

○○山



Q04

コーナー5 「信仰の足跡」

私には、特別な能力がある。

○役○者



Q05

コーナー6 「甲斐を駆ける武士たち」

甲斐の国から全国に展開した  
武士団。

甲斐○氏



# 山梨県立博物館へようこそ。

常設展示には、次の3つのコーナーがあります。  
 順路はありますが、順序よくご覧になりたい場合は、番号に従ってお進みください。

## メイン展示

「山梨の自然と人」をテーマに展開しています。タッチパネル式の情報検索装置や引き出し式展示ケース「学びの引き出し」もお見逃しなく。

**共生する社会**  
 災害、戦争を通して、現状と未来を考えます。『地方病』、『空襲』、『水害』に関する映像も上映しています。(それぞれ10分程度)

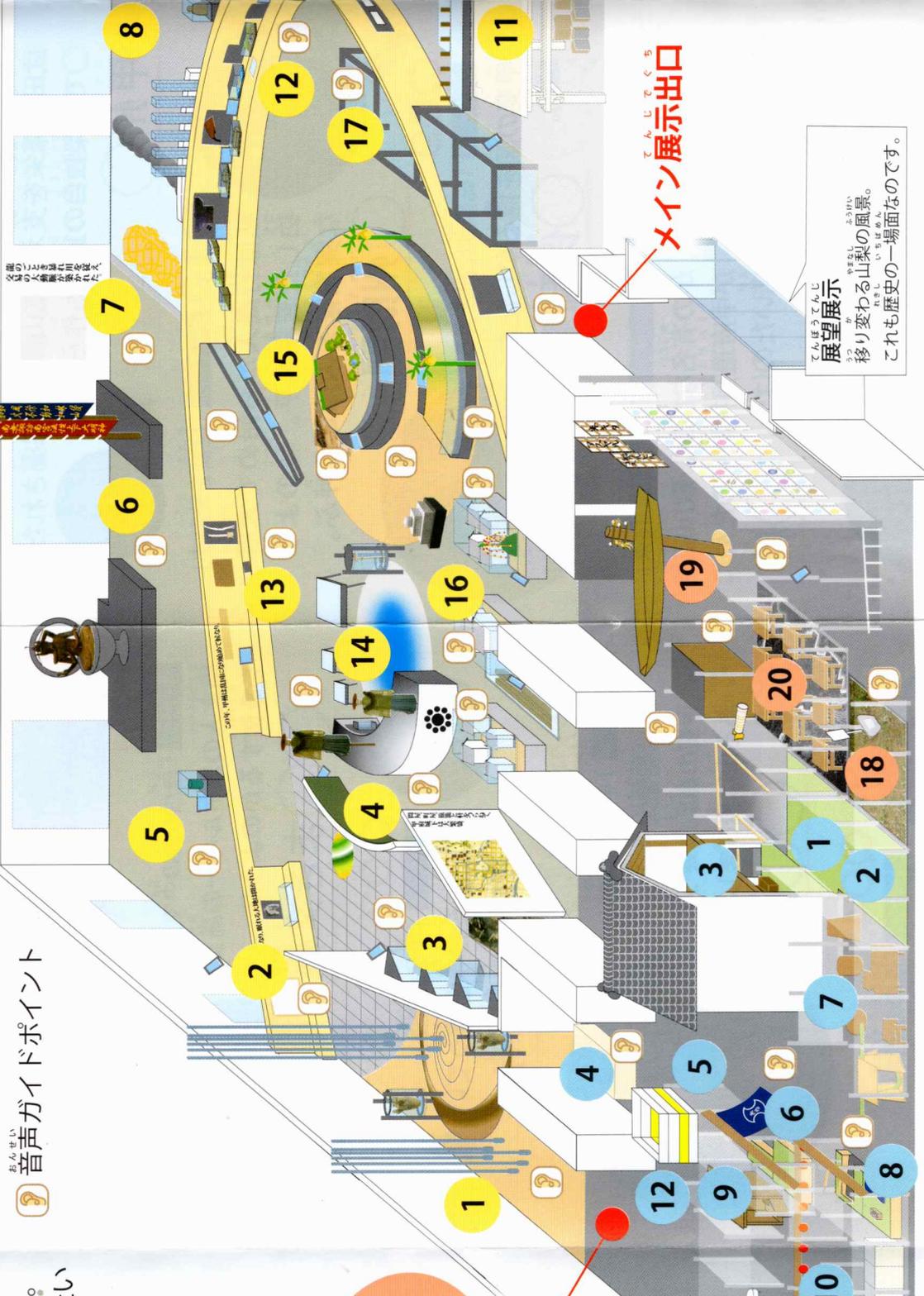
**歴史の体験工房**  
 五感を使って楽しみながら歴史を学べます。

## メイン展示入口

**体験工房案内所**  
 展示室内の総合案内です。困った時はお立ち寄りください。

**常設展改札からの順路**

## 音声ガイドポイント



## メイン展示出口

**展望展示**  
 移り変わる山梨の風景。これも歴史の一場面なのです。

- 1 自然の森の中で 光る縄の先から聞えてくるのは？
- 2 甲斐の誕生 木簡や土器に書かれた「甲斐」の文字。
- 3 甲斐の黒駒 甲斐の黒駒にまたがっているのは誰？
- 4 14 水に取り組む 湖水伝説とは？ 仏像はなぜボロボロに？
- 5 信仰の足跡 経筒にこめられた願いとは？
- 6 甲斐を駆ける武士たち 武田氏をはじめとする甲斐源氏の活躍。
- 7 川を彩る高瀬舟 富士川水運で運ばれた様々な文物。
- 8 道がつなぐ出会い 円盤に手をかざし、甲斐の古道を辿ろう！
- 9 江戸文化の往来 大きな幕絵は誰が何のために描いた？
- 10 転換期に向き合う のぞきからくりで見るアウトローの世界。
- 11 巨富を動かす 「かふふ」駅にあるのは誰のトランク？
- 12 山に生きる 山人の白々のくらしのドラマ。

## メイン展示

- 13 戦国からのメッセージ 『勝山記』にみる富士北麓の災害とくらし。
- 15 里にくらす 「学びの引き出し」を開けてみよう。
- 16 城下町の賑わい 人形が何をしているか、モニターでチェック！
- 17 変貌する景観 日本最古の離縁状は山梨で。
- 18 地方病との闘い 壁一面の「貝」や膨れたお腹は何を物語る？
- 19 明治40年の大水害 立体地図や写真をめくると...
- 20 山梨と戦争 教室の天井や机の中も見よう。

音声ガイドポイント



- 6 甲斐を駆ける武士たち 武田氏をはじめとする甲斐源氏の活躍。
- 7 川を彩る高瀬舟 富士川水運で運ばれた様々な文物。
- 8 道がつなぐ出会い 円盤に手をかざし、甲斐の古道を辿ろう!
- 9 江戸文化の往来 大きな幕絵は誰が何のために描いた?
- 10 転換期に向き合う のぞきからくりで見えるアウトローの世界。
- 11 巨富を動かす 「かふふ」駅にあるのは誰のトランク?
- 12 山に生きる 山人の白々のくらしのドラマ。

- 13 戦国からのメッセージ 『勝山記』にみる富士北麓の災害とくらし。
- 15 里にくらす 「学びの引き出し」を開けてみよう。
- 16 城下町の賑わい 人形が何をしているか、モニターでチェック!
- 17 変貌する景観 日本最古の離縁状は山梨で。
- 18 地方病との闘い 壁一面の「貝」や膨れたお腹は何を物語る?
- 19 明治40年の大水害 立体地図や写真を見くと...
- 20 山梨と戦争 教室の天井や初の中も見てみよう。

歴史の体験工房

- 1 学びの現場 江戸時代の寺子屋にタイムスリップ!
- 2 遊びの現場 なつかしのおもちゃや花押クイズで遊ぼう!
- 3 保存の現場 お蔵の中を探検! タンスや箱階段にお宝が?
- 4 研究の現場 モニター上で遺跡を発掘!
- 5 出合いの現場 山梨の人物、方言、民謡を探してみよう!
- 6 重さの現場 甲州枺や秤を使って、気分は甲州商人。
- 7 なりわいの現場 昔の生活道具に触ってみよう。
- 8 旅の現場 ルームランナーで江戸時代の甲州を一人旅!
- 9 リサイクルの現場 トイレで学ぶ江戸時代のエコ生活。
- 10 歴史衣裳の現場 着替えて変身! タイムスリップ。
- 11 記憶の現場 ゲームで探検。江戸時代の甲府城下町。
- 12 時代の写真館 来館記念に撮影を! (有料: 1回100円)



江戸時代の旅人に変身!

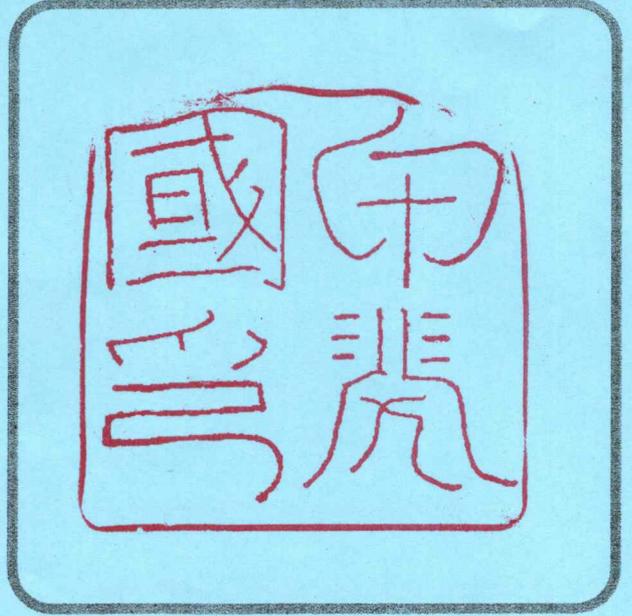
展望展示  
移り変わる山梨の風景。  
これも歴史の一場面なのです。

新設されたこの甲斐館  
は江戸時代をより身近に  
感じてもらえるように  
工夫されています。

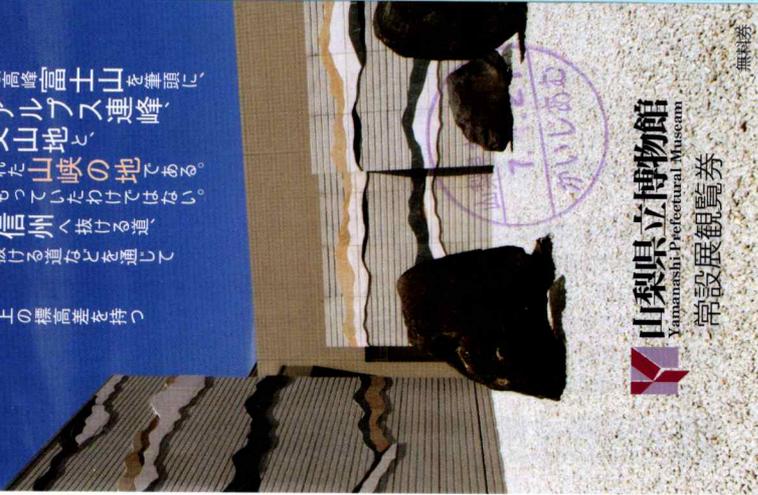
# かいじあむ

YAMANASHI PREFECTURAL MUSEUM

## 山梨県立博物館



山梨は南にそびえる日本の最高峰富士山を筆頭に、西に第二の北岳を擁する南アルプス連峰、北西に八ヶ岳、北には秩父山地と、日本を代表する高い山々に囲まれた山峡の地である。だが、人々はその内部に閉じこもっていたわけではない。東の関東へ抜ける道、北西の信州へ抜ける道、富士川を南下して駿州へ抜ける道などを通して積極的に外部と交流してきた。実に3000メートル以上の標高を持つ複雑な自然環境の中で、人々は多様な暮らしを営み、文化を育んできたのである。



山梨県立博物館  
Yamanashi Prefectural Museum  
常設展観覧券

無料券